明治廿七年二月廿八日印刷
明治廿七年三月二日發行

婦人衛生雜誌

第五拾貳號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雜誌
第五拾貳號
目次

講演

◉赤痢病に就て

寄書

◉婦人須知（前號の續） 醫學士 賀古、鶴所 君

嬰兒の潰瘍○嬰兒の便秘○嬰兒の下剤○綠色便○嬰兒の痙攣症及其豫防○口中の白班（臍ブルク○嬰兒の眼炎症

◉女醫「マリージーボルド」十國に在て目的を達したる事實 女醫 高橋瑞子 譯

◉胃病に就て T T

衛生叢談

◉新任內務衛生局長◉學習院の禁煙令◉嚙爪の癖に關する學術上の研究◉恙虫病◉男女兩性の別るゝ原因◉蓮根のバクテリヤ◉ひき付たる時の心得◉端坐の害◉卒壜の注意◉乳房と嬰兒◉胃中の電氣燈◉牛肉の良否を知る十三法◉醫師現在數◉各種流行病◉赤痢病豫防訓令◉廣島大分の天然痘◉沖繩縣の痲痳疹流行◉露國の虎列剌◉諸會況◉廣告數件

大日本婦人衛生雜誌
第五拾壹號
目次

講演

◉亂排齒の講談 ドクトル 伊澤信平君

寄書

◉婦人須知（前号の續）

○產婦の病及其看護○撿温器の用法○健康人の体温○產褥熱及傳染幷消毒法○消毒方法○產褥熱

衛生叢談

◉住地と死亡◉不眠試驗◉兩親の年齡と小兒の健康◉索遜國小兒の死亡及原因◉印刷業と肺病◉東京府の結婚と離婚◉結婚媒妁の統計◉寒中轉地療養の適地◉トランプ及花合の注意◉坑中の瓦斯驅除法◉寢小便の實驗藥◉百歳以上の長壽者◉百七歳の手習◉高砂の夫婦◉百歳老女◉齒科施療◉普通衛生法◉男女の腦暈◉口中の熱を去る法◉鼻血を止める法◉米人佛國を去る二千四百人◉英國の流行感冒◉英國のインフルエンザ病◉長崎のインフルエンザ病◉不正の痘漿◉產婆の數◉天然痘流行の兆あり其他數件◉諸會の景況◉廣告數件

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第五拾二號

（明治二十七年三月二日發行）

講演

赤痢病に就て

抑も〳〵赤痢と云ひますものは六種傳染病の中にても之を撲滅しまするに困難なるもので其蔓延することの恐ろしきことはコレラよりも甚だしい位ひでありますコレラは感染することが甚しく忽ちにして死亡を來すと云ふことから是迄人々の腦中にも非常に恐れを懐きてコレラ病と聞けば患者の傍に往くといふことは勿論患者ある家の前は驅け拔けて行くと云ふ有様に人々の志想が發達して參りましたが赤痢に至りては未だ人々の感じが薄い様に考へられます之れが抑も〳〵蔓延を來す基ひで此病毒となうしまするものは極めて細微なるところの下等動物（即ち黴菌）で殊によく寒氣に堪へ年々歳々其病毒が發りまして一回流行に遭ふて其防き方の宜しきを得さるときは毎年多くの人命を損すると云ふことになり誠に恐るべき者である取り分け濕氣の強き土地とか多人數群集するところなとは流行の勢ひは一層甚だしいもので古來戰爭の時などに流行したるが如き又脚氣の多き地に多く發生すると云ふを見ても知ることが出來ます濕氣多き地は其病毒發生に適當なるものにして乾燥清潔なる地は發生せんとするも遂に枯死するに至る者である而して其病毒は蒸氣体の者でありませんから空氣中に混じて來ると云ふ恐れは決してないが若も直接に其毒に觸るれば忽ち傳染をなすことはコレラ病の傳染することゝ少しも差ひはありません而して其病毒は如何なる原にあるかと云へば患者の排泄物殊に大便の中に在もので此大便か

赤痢病に就て

如何にして人の身体の中に入るや實に怪しむべきに似たりといへとも自然不潔物を苟且にする人は衣服器具飲食等に其微分子の附着せしを知らず〳〵體中に送るもので非常の注意を以てせざれは肉眼に見へざることゆへ感染し易きものである故に少しの糞汁汚液にても粗畧にすれば大事を引き出すに至り已れのみならず多くの人を惱すと云ふことになる今其傳染の恐るべき一例を擧けんに昨年大坂に於て流行の當時或人偶々菓子を買ひ來りて多くの子供に分ち與へたりしが此子供は皆一時に赤痢病を起すに至りたり因りて段々其原因を尋ねしに其菓子屋に赤痢患者ありたるが爲め其病毒の菓子に着き居たりしといふ事を見出だせりと去なから此病ひは逃れ得ることは出來ぬやと云ふに用心堅固なれば少しも恐るゝに足らぬもので現に病院の看護人などに傳染少きを見ても知らるべしサレバ流行の際には平常下肚等を冷やさぬ樣フラチル或は其他の布にて腹卷をなし間だ食ひを禁じ總て不攝養をせず病人のある家などにて猥りに飲食せぬ樣になし若し腹痛を起してゴー〳〵と腹鳴り頻りに便意を催し厠に至るも思ふ樣に便通なく或は熱を發し食慾を減じ臍と腸骨の間を壓へるときは痛みを覺へる等のことあらば正しく赤痢病に感染したる症候なれば油斷せずして速やかに醫師の治療を受くるを要します之を怠りますると大坂兵庫の樣に非常に流行することゝなります

總て禍ひの起るは起るの日に非ずして必ず因て來る處ありで赤痢病流行してより始めて騷ぎ立てゝもハヤ遲いこと宜しく流行せさるに先ちて之れか豫防を講しなければなりません即ち之を未發に防がんとせば此冬期中に於て清潔法を行ふをよしとします殊に昨年患者ありし家の糞尿等には悉皆二十倍の石炭酸を以て消毒し井戸流し等を改良して汚水の浸み込ま

ぬ様になし塵芥は總て焼き棄つると云ふことにしなければ又々本年に至り時候の追ひ〳〵温かになると共に赤痢か芽を出しゾロ〳〵御花見に出ると云ふてとになります貴婦人方も定めて御承知て御座りましやう昨年は實に大流行を極め何れの地方も其病勢猖獗にして殊に一昨年に至りては兵庫大坂より東海道に及ひ昨年に至りては滋賀岐阜三重の諸縣より漸々進んて神奈川に入り今や東都に浸入せんとしたりしが差したることもなく誠に幸ひでありましたが多少患者を出さゝる處なしと云ふ有様でありますから本年は尚一層東都の關門を固く守りまして敵軍を撲滅せしめなければなりません昨年十二月三十一日迄に其筋に達したる報告によりますれは患者の總數十六萬以上にして其死亡數は四萬以上に達し前年に比較すれは患者は九萬六千三百餘人を増し死亡の方ては二萬四千六百餘人を増して居ります左の表は初發以來全國の患者及死亡數でありますから御覽になれは其景況が御分りになろうと存じます

	患者數	死亡數
東京府	一四七、	三二、
京都府	一、八八八、	五八〇、
大坂府	二四、四六四、	六、一九三、
神奈川縣	五二三、	九六、
兵庫縣	一六、九七八、	四、四七三、
長崎縣	五、四五〇、	一、一七八、
新潟縣	六三、	一五、
埼玉縣	一〇、	二、
千葉縣	三四、	一六、
茨城縣	一八、	四、
群馬縣	九、	三、
栃木縣	一二、	四、
奈良縣	二、八九六、	七八七、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三重縣	四六一、	一四八、
愛知縣	一、六一五、	四五二、
靜岡縣	九七、	四二、
山梨縣	三、	二、
滋賀縣	一、七四四、	四九九、
岐阜縣	四、一四〇、	九二一、
長野縣	二七、	八、
宮城縣	一、	一、
福島縣	五、	一、
岩手縣	七、	一、
青森縣	一一、	一、
山形縣	二、	｜
秋田縣	二、	｜
福井縣	一〇一、	四〇、
石川縣	七四八、	二三三、
富山縣	四六一、	一三四、
鳥取縣	一、六六二、	三五一、
島根縣	一、三三一、	三二四、
岡山縣	二、八六五、	八九六、
廣島縣	一〇、四一一、	三、二九八、
山口縣	八、三三三、	二、四四五、
和歌山縣	一二、三〇〇、	二、六七三、
德島縣	三、七〇五、	九九四、
香川縣	二、四七一、	七五七、
愛媛縣	一五、四二九、	三、八一五、
高知縣	二、五九八、	五七八、
福岡縣	九、八四七、	二、〇四八、
大分縣	一一、三〇二、	二、七八三、
佐賀縣	三、九七〇、	九三九、
熊本縣	一四、五三一、	二、八一九、
宮崎縣	四、一三七、	七六九、
鹿兒島縣	三七二、	八二、

沖縄縣	六二、	五、
北海道廳	四、	二、
合計	一六七、二二七、	四一、四四四、

赤痢病は斯様に澤山流行して居ります併しながら明治十八年頃には四國の徳島縣は赤痢の燒點とも云ふへき有様なりしが近時尤も甚しかりしは大坂、兵庫廣島和歌山、愛媛大分熊本と致しますサレば徳島に於ては大流行の後を受けて消毒法の幾分か行き屆きしによるものあるが要するに傳染の媒介とあるべき物は第一は患者ある家の他人と交通することと是あり即ち人民の赤痢を見ることとまた甚た深からすして恰も尋常の病症の如く思ひ其病ひ危篤なりと聞くや親戚故舊集りて訪問し近親は病者の側にあり藥事介抱に從事し敢て消毒せす且患者の衣服を河流にて洗濯し下流の人々は之を飲用し爲めに夥しき感染を來すが如きは地方の多く見る處である次には看病人にて下等社會の看病人の如きは職業の暇に看病するか故患者を介抱し忙はしき餘り手も洗はすして食物を調理し小兒をも哺育し人にも接し他家にも憚からすして往くか如き又蠅、及蚊等の媒介するあるのみならす自然消毒の不充分なるによる是を以て都會よりは村落の方割合に流行劇しき故であります加之ならす田舍などに於ては醫者を招聘する等の不便利の爲めツイ〳〵手療治をなすことで便秘するとか又はシブリ腹など〻云ひて猥りに下劑などを用ゐることなり之れがツモ手後れとある本にて醫師を迎へることの早いと遲いとによりては大變な利害得失があります經驗によるに病の發したる當時直ちに醫者の療治を受けしものは百人の患者の中死亡僅か二人程の割合にして二三日を經過したるものは百人の中七八人七日以上のものは百人の中十四五人乃至廿人の多き割合とありました總て赤痢のみならす其の初めに

よく注意するか緊要で初めに注意すれば苦るしみもすくなく入費もかゝらず時間も費すこともなし世の中に一文惜みの百損と云ふことを申しますが實にそうでありますが醫者が少しでも身體か惡いと思ふたなら早やく診察を受けよと云ふは僻みて聞くときは徒に金錢を貪らんか爲めの如く聞こゆれども決して然らず世の人の一日一日と醫療を怠れば一日は一日丈け病を増し二日は二日丈重らす譯合故思ひ立ちたるときは直ちに醫者と相談するに若くものはありません併しながら赤痢病其他傳染病の如きは醫者の來るまでも又充分なる手當を施し患者の入りし便所には消毒薬即ち石炭酸或は石灰乳を撒布して當分他人の入ることを禁じ別に患者用の瓶を買ひ求め病毒の發せぬ様消毒をなし患者をして其瓶に跨からせて用をたすべしサスレハ一々便所へ連れ行く煩ひもなく醫師に便液糞汁等摸様を見するに最も便利である其消毒したるものと云へども決して猥りの場所に棄ることの害あるは勿論なるか尤も安全なるは藁屑などに混じて燒き棄るにあり此患者ある場合には子供或は婦人方は病毒を感し易きもの故可成親類縁者等の内へ避けしむるをよしとす若し此便利なきときは其居室に近かつかしめぬ様嚴重にしなければなりません又大便粘液等にて汚れたる布團衣服の類は速やかに取り始末をしまして二三時間消毒薬の中に浸すとか又は一旦煮立てゝ洗濯するか甚しからざるものは蒸氣にて蒸し使ふをよしとします併しながら総て汚れたるものは前にも申す通り燒き棄てるか安全であります而して此病の傳染しまするに或は看病人の手より毒を傳へることが屢あります若し看病人にして爪などを長く生し置くときは知らず〳〵の間に病毒は其内に留る恐れがありますから爪は常に奇麗に取り置き汚れ物などを取り扱ひましたときは一々

面倒でも消毒藥即昇汞水などの內に手を浸し其後を石鹼等にて洗ふをよしと致します若し看病人たる人が此法を用ゐずして井戸繩を握り井水を汲むと云ふ樣なことがありますれば爲めに此井戸を遣ひ居りまする近隣の人は其病毒に感して大變を來します兎に角看病人たるものは成るべく飲食器具等は取り扱かわぬ樣にせねばなりません而して其器具等を使ひます前には一々蒸籠に入れて蒸し或は煮立て用ゐを尤も安全とします

ソコで治療の中でも灌腸することは當人も好まず醫者も余り好んで勸めませぬけれども之れは藥が直接に達し得ることが出來ますから其功顯は著るしいものである患者の食物は如何にと云ふに先づ牛乳、半熟の卵、ソップ精溫湯の類を用ゐ決して固き物は與へてはなりません其食物の溫度は微溫の者をよしとします殊に素人看病人は情實に流れて患者の乞ふに任かせて醫師にも相談せず猥りに物を與ふるは其者を愛するのでなくして却て之を殺すのであると知らなければなりません回復期に向ひましたるときは殊に注意に注意を加へて看護大切である此病はコレラの如く劇しく來て忽ち斃れると云ふものでない故長い間の看護遂に粗畧となり折角全快すべきものを再び重症に陷らしむると云ふことになる殊に赤痢はコレラ腸窒扶斯の如く一回之を煩ひたるときは又之に罹ることは少いとは申されませぬ同じ年に數度發病すると云ふことも稀れでありますが今年罹りて又翌年に至りて發することがありまするから一旦全快しても決して油斷してはなりませぬ

寄書

◉婦人須知（前號の續）

醫學士　賀古鶴所君

嬰兒の潰瘡

皮膚の皺襞中に生す殊に肥滿せる兒の股部腭下頸部腋下に生するを多しとす但し常に身體を清淨になし而して入浴時及ひ衣を更ゆるに當り注意して安靜に取り扱へは之を豫防し若くは治すへし若し癒へざるときは先つ瘉部を洗淨し拭ひ乾かしたる後ち亞鉛花等の粉藥を撒布すへし瘡面若し潰瘍狀を呈せは醫師に治を請ふへし

嬰兒の便秘

嬰兒に適當なる灌腸器を用い清淨なる冷水を以て灌腸すへし食鹽石鹼及油等を混するに及はす但し灌腸器は清潔なるを要す汚穢なるは疾病を傳移するの虞れあり下劑は決して服用せしむ可らす害あり

嬰兒の下劑

嬰兒の病沒するは其原因多くは下劑にして殊に夏季に於けるを最も危險とす獨乙國に於て近年嬰兒の下痢の爲に死する者多きを致せるは其原因生母の嬰兒を乳養するを忌避し牛乳等を用いて養育するにありと云ふ總て榮養を損し清淨を缺けは下痢を生し易し而して生母若くは乳母にして時を定めて正しく乳養する者は之を發するは頗る稀なり

綠色便

邦俗に所謂青便ある者にしてにして嬰兒若し之を漏せは其父母甚しく恐怖すと雖青便にして數多の消化せさる乳酪の凝塊を混するにあらさる以上は別に恐るゝに及はす而して最も恐るへきは却て淡黄色の水樣便を瀉し嘔吐を兼ぬるにあり然るときは速に醫師を迎ふへし便中血液を混する者に於ても亦た然りとす

嬰兒の經攣症及其豫防

嬰兒若し經攣を發せは詳に其原因を探るへし凡そ乳房に接して養育する兒は此症を發する稀にして人

工的に養育する者に於て最も多しとす是れ後者に於ては動もすれは消化器を損し從て下痢を發し易きか爲なり然りと雖前者に於ても亦其母の滋養不良あるか若くは感情過激あるに於ては此症を發するとあり但其脳病に起因する者幸にして僅少なり

獨乙國二三の地に於て小兒の此症を發し死する者累年頗る夥多なるあり其地の風俗を探るに生母は概ね嬰兒を乳養するを事とせす又牛乳を産出すと多しと雖之をも用いす唯麥粉粥を用いて養育するを以て動もすれは嘔吐下痢を發し風氣を釀し腹部甚しく膨滿し四肢羸瘦し漸く衰弱して遂に痙攣を發して死亡するなり

故に小兒若し頬筋の痙攣を發し恰も笑ふか如き狀を呈し若くは手足に痙攣を發し甚しく恐怖し或は卒倒し漸時にして醒覺する等のとあらは母兒共に能く其滋養に注意すへし往々不消化物を吐出し若くは硬便を漏し若くは風氣を放ちて忽ち治癒するとあり

小兒若し痙攣を發し而して速に醫師を迎へ能はさるときは先つ左の數法に依り救助を試むへし即ち冷水灌腸を施し若くは攝氏二十三度の冷水に浴せしめ若くは燒酎を胸腹脚部に塗布し顔面若し紅色を帶びて熱すれは手拭を冷水に浸し十分時間毎に更換して頭部を冷却すへし

頬筋の痙攣リプロイセン國ユルビンニグ北方に於て千八百六十七年より六十八年に至る滿一ヶ年間に生れる嬰兒三百八十名の内頬筋痙攣の症に罹りて死したる者九十九人に至れり而して其原因を探るに悉く過熱の浴をとりしに由れりと故に産婆たる者は浴温を撿するに單に手を以てせす必す撿温器を用ゆ可し又臍部の創傷より此症を撿するに單に手を以てせす必す撿温器を用ゆ可し又臍部の創傷より此症を發するとあるを以て若し此症を發せは臍部創傷の有無

を撿すへし

口中の白班

哺乳後毎回清水を麻布に浸し口中を清拭すれは之を生すると稀なり若し之を生せは日々二三十回もはや白色斑を見さる迄清拭ふへし而して清水に少しく炭酸曹達若くは硼砂を溶して用ゆるを良しとす其他總て清潔に保護すへし

臍ブルク

臍創の癒收するを妨くるは總て不注意に坐する者にして例之は入浴の節汚水若くは石鹼水にて之を刺戟する等なり故に務て之を避け浴後は更に新清なる綳帶を施し安靜になし決して臍部を衝動す可らす而して臍帶脫落せは浴後は必す其痕に石炭酸油を塗布して全治に至るへし但し新清なる石炭酸油なきときはザリチル綿等をわて輕く綳帶するを善しとす又之を衝動するより出血を生するとわり注意すへし

臍ブルクの生するは臍創の未た癒へさるとき小兒若し劇く啼號して止まされは即ち之を生す若し之を生するの虞わらは速に醫師を迎へ適當の處置を施すへし

嬰兒の眼炎症

世上に盲兒の多きは概ね其初め微に炎症病なりしも之れを放任し過ぎたるに由り遂に盲目となれるものにして其初めに當つて適當の治療を施さは孰れも容易に治癒すへきを母の不注意より最愛の兒を不幸の極に陷らしむるなり故に嬰兒に於て最も注意すへきは眼なり即ち生後眼瞼を開張し能ふるや否を撿し若し開張せさる時は何故に閉鎖するやを細撿し而して別に眼瞼に異常を認めさるも粘稠液を以て粘閉せは清淨なる綿に清水を浸し靜かに拭ひ去るへし而して眼球紅色を帶ふるにわらされは時々清く拭ふのみにて可なり然とも二日經るも尙ほ眼瞼粘閉し若くは

涙を漏し光射を忌むこと甚しく或は眼球紅色を呈せは即ち醫師を迎ふへし萬一醫師を得さるときは產婆若くは看護人は次の如くなすへし先つ清淨にして柔軟なる布片若くは綿に清水を浸し徐に輕く眼瞼は間を拭ひて外眦より内眦に向ひ内眦に於て鼻側に向け數回清拭すへし但し布片綿絮は用後直ちに棄て去り更に新清なる者を用ゆへし然る後ち拇指を輕く橫さまに上瞼に當て之を擧上し少しく外飜して再ひ膿樣粘液を拭ひ去り次に他手の示指にて少しく下瞼を外飜して拭ふへし若し一眼にのみ此症を發せは總て病眼に觸れたる者を健眼に用ゆ可らす

乍ち傳染すれはなり又他人にも傳染し易きを以て

病眼を洗ふには清水を用ゆへし決して乳汁及石鹼等を混用す可らす

眼炎症は元來局所病にして內臟の病黃疸若くは彼其名ありて實は其物なき胎毒の爲めに發するにあらす單に眼にのみ現はれたる病なり故に俗間の妄言に迷はす速に治療を加へば必ず容易に治癒して復痕跡を留めさるものなり然れとも世人往々處置を誤るを以て彼恐るへき不幸の結果を來すあり夫病は猶は火の如し其初一穗の火焰たるに於ては滅却すると容易なれとも燃燒旣に盛なるに至ては復救ふ可らすと愼ますんはあるべからす （完）

獨逸國伯林にある知人妾に贈りし該地新聞の一片を以てす之を讀むに一女醫か六年の永き他國に在りて數多の困苦に堪へ遂に其目的を達したるの事實なり妾之を讀み感激に堪へす故に今不文を省みす其大意を譯して我同業貴婦孃方の一讀に供すと云爾

東京日本橋區元大工町開業女醫

會員 高橋瑞

「ドクトル、マリージーボルド」Marie Siebohe と云へる一女醫あり六年前土國「コンスタンチノペル」へ來り住す元來其主なる目的は土兒古の首府に住して遂に「ハーレム」(數多の婦妻家に住し只主人獨り出入し得る家と云ふ)に醫術を施さんとするに在りき女醫の土兒古に行かんとせし時人皆謂へらく此行や該地婦女子に向て實に必要有益の事なり何となれは元來土兒古の風習として婦女子疾病に惱むも醫師をして細密に撿査せしむること能はされはなり然るに女醫は婦人の身なるを以て婦人病者を診察するに其許可を得んこと難からす從て數多の難患痼疾を治せしむべし惟ふに後來婦人の門前には患者山の如く集り數年を出てずして一大金滿家となり且つ其名四方に轟くに至らんと然れ共人々の豫期せし所は一も當らすして女醫は其目的を達するの幸福を得す却て種々の困難に遭遇するの止むを得さることゝはなれり何となれは土兒古國の衛生議官は該婦人の開業願に對し外國人なるの故を以て之を許可せさりしのみならす同國開業醫等も恐れて若し該婦人にして此地に住せんには遂に「ハーレム」にも關係を及ほす可しなと風評したり然るに此卑劣なる開業醫の讒言は不幸にも一般人民に至るまで土兒古婦人をして疑惑不信用を起さしめんとて該婦人は元來單純なる藪醫をして決して獨乙にても魯國にても「ゼルヒアン」にてもドクトル試驗を受け政府より開業を許されし者に非らずとまで誹毀するに至れり然れ共「ドクトル、ジーボルト」婦人は非常なる勇氣而かも才智に長する者なるにより他の人々は種々の妨害を加へ飽く迄其轉住を促すにも拘らす盡く敵人の抗撃を破り嚴然として揚言して曰く若し土兒古皇帝(Sultan)より命あらは此地を去るともあらん凡庸の輩千萬言を費し予に迫るも予をして此地を避けしむ可らすと加之

元來土兒古國に於ては婦人をして壓制的に追放し得べからさるの規律あるを以て該婦人を妬み嫌ふの人々も止を得す一時之を放置したり當時該婦人は「ペラ」「コンスタンチノーベル」の一市區に於て二三人の歐洲人を治療するを以て生計の業とし只管ら之を忍耐し常に「ハーレム」に伺候するの機を得んことを圖れり而して今や喜ふ可き時運來り土兒古婦人の信用を得るに至れり茲に其目的を達したる最も端緒とありしは一の高貴人の母君病氣に就き一手術を施し好良の結果を得たるの一事なり此手術により好良の結果を得るや該地の新聞記者は皆其事實を掲け就中「ターリキ」新聞の如きは特に賞賛の一章を記して贈れり斯く既に世人の知る所とありしも尚妨害を企圖するもの多かりき但該婦人の勇氣種々の困難に耐へ敵人に抗して一歩も籍す所なく一々之を挫き終に前周の始めに至りて啻に該婦人のみならず他の婦人醫師に至るまで全土兒古國に於て開業し且つ一般男子醫師と同等の權利を有す可き政府の允許を得るの大効を奏するに至れり該婦人か實に一人の補助者なく只獨身六年の永き其間種々の困難を冒め許多の强敵を屈伏せしめ終に今日に至る其勇氣其志操實に一女丈夫と云ふ可し

ドクトル、マリージーボルト」は獨逸人にして今年齡四十有七歳曾て瑞西國「チーリヒ」及ひ「ベルン」に學び「ベルン」に於て「ドクトル」の學位を得たるは實に二十有余年前の事なりき又曾て四年間獨逸及ひ魯國に於て開業し彼「セルビアン」「ブンガリーン」の戰爭の際監督者となりて職を陸軍病院に執れり今や婦人は開業日に盛大にして多く歐洲及ひ古兒古婦人を診療し既に土兒古上流社會の「ハーレム」に出入するを得るに至りたれは遠からすして土兒古皇帝の「ハーレム」に伺候し得るに至らんと殆んと確信すべ

しと云ふ

胃病に就て　T　T

凡そ人若し食物を取らざれば生活し生命を保つことは出來ませんが又食物を不平均に取る爲めに生命を保つことか出來ないことがあります人の病氣には種々様々ありまして迚も數うることは出來ませんが其内でも尤も多き病は飲食の不攝生より來るものが多くあります之は消化器病即　胃　病と申します抑〻此胃と申しますものは全身を營養しまするところの源　でありますから一旦此病に罹りますときは全身に養　分を送ることが鈍くなりまして之れが爲めにはいろ〱なる病ひを引き起すに至りますから平常其豫防法を研究しまして御注意か緊要であります其原因としまするところは是又澤山で滋養物を常に食べて居りましても運動が不足の爲め起ることもあり或は肉食　植　物等類を澤山に用ゐることより起り或は時間を定めず不規則に食物を用ゐるに起り或は飲食をアマリ急速になし碌々嚙まぬか故に消化不良を來し或は香料を余計用ゐ過ると云ふことや熱度の甚しき者又は冷やかに過るものを食ひ或は只に滋養分の多き者のみを食ひ少しも滋養分少きもの即ち野菜の如き者を取り交へずして食ふとか又精神過勞等の原因によりて遂に此病ひを患ふるに至りますが要するに之を一括して其原因の元素とも云ふべきものは擧げますれば食物と運動の二者に外ならないと思ひます食物の品柄及其用ひ方は其國の氣候風土と國民の開化の度に關係しまして其取るところの食物はいろ〱ありますが滋養物と申しまするものは身體を養ひ尤も大切なるところの血液を作り出すものでありまして肉類の中でも殊に鳥肉獸肉魚肉の如きものは殆んど血液の成分に似たるものでありますから肉は滋養物の中にても最も優等品であります

鳥の肉は身體を養ひますることは魚の肉或は野菜類よりも多く殊に蛋白質が多くありまして纎維及脂肪が少なく味ひも又美にしまして消化し易きが故に鳩の肉鷄肉牛肉などは羊肉よりも消化が早いものでありますが豚肉鴨肉などは脂肪氣多きが故に或は胃を害することがあります猛獸或は老たるもゝの肉は稍き肉より消化し難きもので胃の爲めによろしくありません総じて柔らかなる米粥魚鳥獸肉の新らしきもの鷄卵牛乳ソップ等の如き其他葛山慈姑味噌豆腐などは能く胃に堪へうるもので多量の砂糖を以て製したる菓子餅團子或は塩藏の魚肉貝類海草類の如きは多く用ゐさるを要します此他嗜好物としては酒類、茶、珈琲、煙草、菓物、蕃椒、山椒、生姜、胡椒などありますが概ね小量を用ゐるの他は決して利益なき者であります尚食物消化の難易に於ける食品の概畧を揭げて御參考に資せんと致します食品中○は滋養を示し丶は稍々滋養あるを示し無點は滋養の極めて少なく滋養あるも腸胃を害するものと定めます

穀類

○粳米 ○糯米 ○大麥 ○小麥 ○燕麥 ○裸麥
○陸稻 ○大豆 ○小豆 ○蠶豆 ○綠豆 ○菜豆
○粟 丶靑豆 丶大角豆 丶蕎麥 丶黍 丶豌豆
稗 刀豆 蜀黍 玉蜀黍 白胡麻 黑胡麻

鳥類

○鷄 ○鵞 ○鳩 ○雉 ○鴫 ○ヒヨトリ ○
雀 ○矮鷄 ○鬪鷄 ○七面鳥 ○鶉 ○鷺 ○鸕
○鴨 ○鶴 ○雁 丶鴉 丶鷹類 丶山鳥 丶水鷄
丶啄木鳥 鳶 鵲

獸類

○牛 ○犢 ○羊 ○兎 ○鹿 丶豕 丶猪 丶熊
丶貉 丶獺 丶猿

蔬菜類

○馬鈴薯 ○突芋 ○百合 ○里芋 ○甘藷 ○紫芋 八頭芋 ○長芋 ○山芋 、慈姑 、蓮根 、胡蘿蔔 、冬瓜 、獨活 、蕪菁 、大根 、葱 、生姜 、芥菜 、小松菜 、冬菜 蕳 茗荷 蕨薇 胡瓜 白瓜 南瓜 韮 蒜 薤 類 茄子 糸菜 嫁菜 三葉 ワサビ 蓼 土筆 蓴 牛蒡 西瓜 甜瓜 筍 萵苣 蕃椒

魚類

○鯉 ○鮒 ○年魚 ○火魚 ○鰻 ○鱒 ○ワカサギ ○鯰 ○鮭 ○鯛 ○比目魚 ○鱸 ○鱈 ○鯔 ○白魚 ○ムツ ○方頭鯛 ○ハゼ、キス ○ハモ ○石首魚 ○鱓 ○鰤 ○鱵 ○鰈 ○鯵 ○牛尾魚 ○牡蠣 、鰶 、鯖 、カマス 、オコゼ 、ヤガラ 、赤鱝 、紡ボウ 、鮟鱇 、鮑 、海豚 、青魚 、飛魚 、鯨 、鰯 、鰹 、鮪 蟹 鰕類 烏賊 章魚 海鼠 水母

菓實類

、葡萄 、林檎 、梨 、栗 、椎實 、榧 、胡桃 蜜柑 金柑 橙 棗 杏 桃、梅 柚 枇杷 石榴 覆盆子 無花果 楊桃 柿 李、銀杏

飲料品

○水 ○人乳、○牛乳、○米酒 ○鷄卵酒 ○葡萄酒 ○麥酒 ○麥湯 ○玉子湯 ○蕎麥湯 ○葛湯 ○湯砂糖 、甘酒 、白酒 、濁酒 、養老酒 、ケレー酒 、保命酒 燒酎 酢 煎茶 綠茶 薄茶 濃茶 香茶 煙草

砂糖類

○氷砂糖 ○飴 、棒砂糖 、四本引 、和三盆 大白 、蜂蜜 和黑砂糖 玉砂糖

貝類

○蠣 蛤 蜆 蜊 赤貝 鮑 マテ貝 鳥貝 馬鹿貝 潮吹 榮螺 紅螺

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

右は只其大略を記するに過ぎざれとも成るべく消化し易きものを撰みて用うるを要します而して魚肉は概して獣肉よりも消化し難く鰻、鮭、鱒、鰯の如きは多量の脂肪を含み居ります故に鱸、鱈、鯛、比目魚等に比すれは消化し難き者で常に魚のみを食ふと鳥獣肉を食するものに較ぶれは魚肉のみを食ふ人は筋肉の搆造が薄弱ゆへに体力も又少しサレとも魚肉中には燐素を含み居りますから大に神經系を補ふの効かあります常に脳力を使ふ人に供して大に効があります魚肉は總て腐敗し易きか故に乾魚又は塩魚を製します殊に恐るべきは姦商往々腐敗したる魚を以て乾魚塩魚を製することで食用に供する時には宜しく注意せなければなりません欧米の魚市場には魚鑑なるものありて魚の善悪を監定するの規則ありと申すことで我國にても早晩之を行ふことで御座りましやう貝類中牡蠣の如きは滋養に富んで居りますが五六月の頃には許多の小蟲を生ずることがありますから此時頃には食用に供せさるを以て安全と致します

サテ食品の事に付ては大概之を述べましたが胃病を醫するには食物の用量度數に關係致します如何なる善良なる食物にても適度を失ひて貪り食ひまするときには徒に消化しない許りでなく種々の弊害を來し動もすれは消化機能を害し胃中に久しく滯りて吐き氣を起し時としては嘔吐を催し醱酵酸敗を來して異常の瓦斯を發生するに至るべし食物の用量は餘り少きに失してはならぬと云へとも又決して飽くに足る迄喫してはなりません殊に胃病の人は成るべく扣へ目になすを要します如何となれば胃病家にありましては尋常よりも胃の消化力の弱りて居ることは勿論でありますから之れに尋常若くは多量の食物を取ることは小さなる袋に過大の物を容るゝと一般

到底堪へられる者でありません然れども用量小なれは營養も亦減少するに至りますことは免れませんから小量にして養ひ分の多量に含み居ります食物を用ゐますれは營養を欠くことはありません又胃中に於て食物を消化するには一定の時間がありますから飲食の度數も又注意するを要します故に胃病家にありましては特に尋常の人よりむしろ度數を減するをよしと致します俗に申す間だ食ひは大禁物で胃病は多く之より起ること屢々であります而して食物の調理法の適不適は亦大に關係を來し調理法宜しきときは單に美味に食はしむるのみならず食欲を催し消化を助くるものであるから總てよく煮沸しまして軟らかに調理するをよしと致します

胃病に於ける食物に就ては右の如くでありますが假令食物は完美して居りましても朝から晩まで少しも運動することなき時は消化機隨て鈍くなりまして是又大害を來します西人言へることかあります胃病をして自然に治せしむるの最良藥は運動にありと實に胃病は運動によりて著しき功驗を顯はします故に山野の如き清潔なる空氣中に散歩逍遙し或は海邊に遊ふか如き之に因りて平素の頑疾を醫するすると云ふ例證はイクラもあります斯の如きは臨時の運動でありますが毎日食前二十分を隔てまして適宜に運動或は行歩し食後半時間を隔てゝ又運動を試むることか必要であります其運動をしますにも宜しく身心を快樂にするを要します不快にして之を爲しますときは其功は少いもので況してや懶惰にして運動を厭ふことを藥服を嫌ふ樣では到底其益を受くることは出來ません貴婦人方にありましてはマサカ体操を日々になさると云ふことも少しく嫌ひも御座いますから庭内などを往復行歩なさるか又は自から掃洒の勞を取らるゝも宜しからん運動の時刻は如何にと云ふに

朝を以て最良の時刻と致します如何となれは朝は空氣純粹にして人体の能力も健壯なるからで是を以て學問を爲すにも亦朝を以て第一とする譯けでありますサレハ又平生早起きの習慣を養成せなければなりません性質虚弱なる人は晩方は濕氣の強く空氣腐敗して居りますから却て行はさるをよしとします前にも申す通り運動するには食前食後幾分か隔てなければならぬのでありますが空腹を忍びて食前に運動しますれば神經力を疲らすのみならす喫飯の時に及びて大に消化機を害するに至ります

胃病の原因としまして食物と運動に就きて聊か申述べましたが此他衣服住居の淸潔飲料水の注意等一般の攝生法を守るべきは勿論のことでありますが終りに臨んて一言すべきことは胃病に罹りたる人か服藥を爲すは適當の事でありますが攝生をも爲さすして徒に病の速やかに治癒せんことを望みますのは恰も木により魚を求むるの類で其効はありません胃病家か重炭酸曹達を服しまして一時の愉快を貪るか如き永く該藥を服用するの結果は爲めに消化不良を來たし胃病を高ぶらしむる者ゆへ手療治は危險なるものと云はさるべからず胃病に限らす何病にても其害は同しものでありますから服藥の事は須らく醫師に依賴するにこしたものはありません

衛生叢談

◉新任内務衛生局長

廣島縣書記官陸軍歩兵大尉正六位勳六等高田善一君は入りて内務衛生局長に任ぜられたり

◉學習院の禁煙令

喫煙の有害なることに就きては本紙にも屢々之を掲載せしが愈々去る十二月學習院に於ては學生の喫煙

を禁止せらるたり願くは斷然小學校に於ても私立學校に於ても家庭に於ても之を禁止せられんことを冀望す因ては玆に登載して大方の注意を促す

近來世上に於て幼年者烟草を嗜好するの風大に流行し其の甚しきに至ては學校往返の途上恬然之を喫する者あるに至る

元來喫煙なるものゝ衛生に害あるとは醫家衛生家の定説にして殊に弱年の者に在ては其の害最も多く且つ風儀を傷ふこと甚た大なりとす先に本院に於て中等學科三年級以下の學生の喫煙を禁止せしも畢竟之か爲めなり

抑も喫煙は一の痼疾となるものにして幼時に於て一旦此癖習を生すれは成年に至て益其の度を進め容易に之を脱すること能はざるは世人の多くは喫煙の有害なるを知りても終に之を廢すること能はさるを以て知るへきなり是れ喫煙を幼年者に嚴禁するもの最も肝要なる所以なり而るに當今本院幼年の學生中此禁を犯し有害無益なる喫煙の爲に懲戒の處分を受くる者往々増加するの傾きあり依て爾來一層取締を嚴重にせしむるは勿論なれとも各自に於て深く喫煙禁止の主旨を服膺し以て他の流行に誘はれ或は己の嗜好に任せて此の恐るへき害毒を蒙り且つ之か爲め懲戒の處分を受けて身躰と名譽とを兩なから損傷することなからんことを期すへし

右訓令す

◎嚙爪の癖に關する學術上の研究

此頃の國民新聞紙上に右の一編を掲け大に小學教員及子供ある婦人方への注意を惹き起されしか今之を轉載せんに佛國ロブノチズム及心理學會幹事にして亦癲狂院附醫師たる醫學士ベリヨン氏は近頃オンチヨファアジー即ち嚙爪に關する一篇の論を以て大に佛

國醫學社會の注意を惹起せり此れ氏が七年の餘佛國の公立私立諸學校に於て實地研究の結果あり氏の言によれば爪を嚙むの一事は直に之を病氣と名くる能はざれども少なくも神經組織衰弱の明兆あり

ベリヨン氏はヨーン縣の男女合敎學校にて試驗せしに男童の嚙爪者は二割、女兒は五割二分に及べり亦セーヌ及マルンの男學校に於て試驗せしに

年齡	全躰の數	嚙爪の者數
十二—十四	十八	七
十三—十五	十六	六
十五—十七	十八	三
總計	五十二	十六

十二より十四までは殊に此癖ある者と見へたり女兒に到ては更に著しきものあり

年齡	全躰の數	嚙爪者の數
十一—十三	八十	二十七
十二—十五	七十五	二十一
十五—十六	五十二	十三
十六—十七	十	二

右調査をなせし諸學校の報告によるに此爪を嚙む癖ある生徒は必らず最下等の學生にて男兒なれば女々しく女兒なれば怠慢に其無氣力なること著しく注意力も確固ならず其書く文字も概して正しからず巴里手藝學校敎師の言によるに爪嚙む癖ある生徒は尤も敎へにくき生徒にて往々手藝の敎育を受くるに不適當なる者あり尤も驚く可き記臆力若くは或藝或學科に特別の長所ある者等には爪を嚙むの癖ある者多けれど斯る者は或一部の不釣合に發達したる者にて即ち神經組織の正當なる發達を誤れる者にて成年に到つては多く其特長を失へり六歲より八歲までの兒女にて尤も頑鈍なる者は殆んど皆爪を嚙むの癖ある者あり要するに爪を嚙む癖ある者は智識上道德上何れも劣等なる者なり

嚙爪の癖の年少者に害あるを第一に認めたるはフォ

ンサグリーヴス氏なるが氏は嚙爪の癖を以て彼孩兒が手に取るもの每に之を口に入れむとする傾向の殘れる者なりとせり或は成年に到て此癖殘り常に指、爪を嚙へて指を害し口を害する者あり猶同氏は數百の實例を調査して嚙爪の癖は概して遺傳なる事實を發見せり

ベリヨン氏の所論は嚙爪の癖はたゞ小兒の一寸したる手癖に止まらず一寸したる罰にて悛まる可きものにあらず全く神經衰弱の徵にて宜しく早く注意す可きもの、其原因を察すれば外部の癖は常法によつて改めしむるを得可し

英國にても此事には早く注意せられ或學校にて調査せしに一階級の五割迄此癖あるを發見せる事あり或學校にてはしば〱生徒の手を撿し嚙爪者は嚴に罰せらるゝ事あり亦巴里に於ては爪を嚙む癖ある兒女の指先に蘆薈、苦巴旦杏、キニーネ等を塗ることあり或醫師は此癖ある兒女には斷へず手套を穿たしめ夜間も之を穿たしむる者あり然し此等はあまり其効なしと云へり

ベリヨン氏の說にて斯かる癖ある小兒少女は之を一處にまとめ英國感化院にて適用するものと同樣の特別のしつけ及衛生上の處法を應用し元來此癖は即ち少女小兒の神經組織の衰弱の徵なれば先づ適宜の食物運動其他によりて彼等の神經組織を丈夫にし然る後(一)外部の感覺によつて不意識的の行爲を意識的のものとなし(即ち指にゝがきものをぬる等)(二)反動的自動傾向をつくり(三)少女小兒の注意を強む可しまたヒプノチ、ベム的療法を用ふるも可しと

◉恙虫病

近來恙虫病とて新潟邊に流行すと云ふ某大醫の嘗て調査せられたる大要を記せば左の如し

●●●●●●

恙虫病の症候　恙虫病は其毒に罹るや大畧三日

目位に至りて創面を生じ熱は次第に昇昂し三十八度以上四十一度位までに至るを常とす若し本病に因て餘症を發するときは其餘症は氣管支加答兒、肺炎等を多しとす

腸窒扶斯又はマラリヤ熱と相違の點 凡そ熱性病の病原を研究せんとするに當ては之に類する者と對照して調査するを便なりとす本病に類似する者にして從來其病原の明かになり居れるは腸窒扶斯及びマラリヤ熱なり仍て予輩は十分研究する所ありしに全く相違の點あるを確認せり

恙虫病原は如何 予は本病の病原を研究するに當り先つ創面に就て十分調査する所ありしに何等の虫をも發見せず且つ通常空氣中に懸在する無害の黴菌を認むるの外は毫も病原と認むべき者を發見せざりしより仍ほ進んで患者の血液を檢するに及んで初めて一種の異物を赤血球内に認めたり此の異物こそ正さしく病原と認むべき原語に所謂プロトツヲンにしてプラスモジユームなり即ち黴菌性に非ずして下等動物性なり予は此のプラスモジユームの恙虫病因たるとを信じて疑はざる者なり而して此のプラスモジユームは一種の虫に寄生する下等動物にして一種の虫が人体を螫すと同時に之を人体血液中に傳ふるあり茲に一事の奇なるは恙虫螫毒と扇虫とは密接の關係を有するが如き状ある一事なりとす恙虫發生地と聞ゆる地方の人々中に扇虫に螫さるゝ者あれば近きに恙虫發生するならんとて一般に恐怖せり而して實際如何と云へば其言に違はず扇虫に螫されし者ある時は日ならずして恙虫に侵さるゝ者を生ずるなり此等は研究の資料たるべし云々

發生地の豫防法 病毒豫防法に貴ぶ所は少額の費用を以て的確に病毒を杜絶するに在り金錢を惜む

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なく高價の藥品を使用するに於ては病毒を消し去る事或は容易なるべきも斯くの如きは決して實際に行はるべきに非ず予は恙蟲病毒の豫防法に就ても種々研究する所あり差當り最も廉價に最も的確に豫防の功を奏し得べしと信じたる一法は石灰の利用なり蓋し病毒を消歇するに石灰の効力は顯著なるものにして一度之に遇ふ時は毒原爲に死滅するを常とす彼の恙蟲發生地に向て之を利用するに於ては必らず其目的を奏するならんと信ず然れども事尙ほ經驗前に在り必らず目的を奏すべしとは斷言する能はず故に予は先づ明年に至り或る一地方に於て（川原地なれば其地全体）之を經驗されん事を望むなり其方法は春季雜草の萌芽を抽ける頃に當り空樽に水を滿て石灰を攪拌して成るべく濃厚なる石灰水となし之を恙蟲發生地一面に撒布すべし斯くすれば大抵の毒蟲は斃死すべし然れども尙地中數寸の間に孵化前の蟲卵等殘り居るの虞あり是を以て更に其土を一面に掘起し藁を其上に掩ひて火を放つなり斯くすれば殆んど餘毒なきを得ん斯くして後ち念の爲め尙一回石灰水を一面に撒布すべし予は是にて十分病毒を豫防し得るなんと信ずるなり

一個人の豫防法　一個人の豫防法も亦廉價にして而かも病毒を消するの實効ある者に非ざれば普く行はれ難からん故に予は一個人に對しては薄荷油を用ひて實効の有無を經驗せん事も勸むるなり薄荷の消毒に偉効あるは近頃醫學社會の認むる所にして虎列剌黴菌マラリヤプラスモジユーム等一度之れに遇へば其氣に觸るゝのみにても斃死するを常とせり從來の經驗に依れば恙蟲は人体中皮膚の柔軟なる部即ち左右脇、股部、陰部、下腹部等をす螫者あれば川原地等へ出で稼がんとするに當て

は先つ此等の部分に薄荷油(薄荷水にては不充分あり)を塗抹し稼き中に於ても其の氣の薄らぎたりと思ふ時は時々之を塗抹すべし陰部等は多少とリックべけれど是は毫も害あるに非ず斯くする時は容易に螫毒に罹るが如き虞なかるべしと信ずるなり云々

◉男女両性の別るゝ原因

動物の胎兒に男女の別を生ずるは其母の營養の充分なると否らざるとに關すると云ふ說あり即ち母の身体の營養充至あるときは女を生し否らざるときは男を生ずると云ふにありマラグチー氏は牝兒を產せし牝羊の体量は牡羊を產せしものに比して遙に大あるを發見せりと云ひボロッス氏は村落の出產兒には男兒多き都會に女兒多きは村落の食物の都會の者に比して粗惡あるに由るといふ魯西亞の諸村落に女兒一〇〇に付き男兒一二〇九の割合となるは該地に女子の數少あきによりて早婚の習慣を生し夫婦年齡の差等多きに由れりと聊か記して參考に資す

◉蓮根のバクテリヤ

筑後地方蓮根の產地に於て昨年蓮根掘取の期節に當り腐敗して食用に堪へざるもの多し福岡縣勸業試驗場に於て之を試驗し下の如く說明したりといふ

其蓮池の土を撿するに青色を帶び非常に亞酸化鐵に富みたり是れ腐敗の素因なり又蓮根の孔管中に一種の黴菌寄生せり是其近因なりとす凡そ土中亞酸鐵に富めば土中に還元作用起り植物の發生を害し而して後黴菌其虛に乘じて寄生し腐敗に至らしむ之を救治するには蓮池を一旦乾涸し亞酸化鐵を過酸物に變せしめ而して蓮池一面に石灰を撒布して再び灌水して蓮を植付るにありと

◉ひき付けたる時の心得

平生ひき付けの病あるものは常々新鮮の空氣を呼吸

するやうに心掛け不潔なる空氣を呼吸せしむべからず新鮮なる空氣は少し位ひ冷やゝかなるも溫暖に過度の變化なければ差支へなしとす而して毎日冷水にて身体を洗ひ常に通事に氣を付けて毎日なき時は醫師に藥を求むべし手療治は安心ならず

若しヒキツケたるときは左の手當をなすべし

第一　頭と面とを冷水にてひやし足を暖むべし

第二　新らしき空氣を呼吸せしむるを緊要とす

第三　口中の粘痰を除き去るべし

第四　水粘を二三條頂につけへし

第五　灌腸するもよしとす

第六　芥子泥にて（フクラツパギ及頭）を塗るもよしとす

●端坐の害

經濟雜誌に「すはること」の害を論じ中古すわることと（すねると云ふ文字漢語になし何となれば是れ日本特殊の習慣なればなり端坐と云ふて如何にや）と其弊害を論じて末廣一雄氏は左の證を擧ぐ

一　脚氣は日本の地方病なり而して脚氣は端坐制の最も嚴しく行はるゝ都會の地に多し

一　腰の甚しく屈める老人日本に最も多し

一　日本人の脚は世界各國民族に比して最も短しエスキー）を除く

一　日本人の脚は世界諸民族の脚に比して最も屈れり

一　日本人の脚は世界諸民族の脚に比して最も細し

右五個の弊害に付き一々例を擧けて之を說けり兎角大に世人の注意を惹き起したるにや毎日新聞記者は各新聞の評を擧げ最後に曰く此問題にして眞面目に識究すれば不思議の變く驚くべき事實を發見せんも未た知るべからずと世人の注意を促し末廣氏の言を

引きて之を紙上に論せり曰くすわるが爲め日本人は過浴す過浴は國を亡ぼすと英人は云へりすわるが爲めに日本人は炬燵を用ふ炬燵は多大の炭酸を吐くが爲め頭惱を害すること甚はだしすわるが爲めに股引を用ひずして外出する故に他出の際外氣に觸れて下肢冷却す、すわるが爲め起つて業務を執るを厭ひ倦めは直に横臥す、すわるが爲め火鉢を用ふれども火鉢は上半肢を暖めて下半肢を暖めず憐むべし日本人は己れの足を以て臀を安んずる椅子となし體を休むる床となし上半身の休憩する間下半身は其重量を負擔して苦痛に惱む日本人の如く己れの半身を休息せしめんとて他の半身を鞭撻するものあるを見ずと末廣一雄氏は經濟雜誌紙上すわることの害の後篇に論せり而して同氏は脚氣の眞因は米に非ず魚肉に非ず將た氣候風土の爲めに非ず全くすわることより起れりと論じたり昨年森林太郎氏の糞便試驗に依るに日本人は麥と肉とを食せんよりは米と魚とを食する方多く滋養を吸收するなり去れば後來米を食するが爲め脚氣を患ふと云ふの説は益々其價値を減ずることならん但し末廣氏が當今用ふる椅子は長脚人種に適して日本人の如き短脚人種に適せず宜しく改むべしとは如何のものにや或る學校衛生家の取調べたる所に依れば椅子の高さは其脚を鉛直に床に垂るゝ高さと同じかるべしと云へば當今の椅子は敢て高きに失せざるが如し經濟記者は以上所説の外にすわることの大患害ある由を述べ脱肛の如きは全くすわることより起る病にて歐米には甚だ少く日本に最も多し而して其治療法は其病の最も少き歐米の術を用ゐ病者の死を顧みずして切斷し僥倖にも病者が其尻を醫師に持ち行かざるが爲め醫師は平氣なりとて大に醫學社會の反省を促せり兎に角すわることの弊害に就て未だ人の唱へざる新説なるが充分研究の後斷信すべきなり。

◉空壜の注意

東多摩郡に住する畫家宮田某は或夜書齋にて山水など畫き十一時頃床に就きしが間もなく苦悶を始めたれば早速醫師を迎へて診察せしめしに筆を洗ひし瓶中に劇藥の氣殘り居りし爲中毒せしものと分り速に消毒を行ひしと云ふ

◉乳房と嬰兒

乳房を以て嬰兒を養ひ乳房を以て嬰兒を殺す豈に恐れざるべけや寢心よき時節に向ひぬれば若き方の御用心と申すは本所區松代町中村某の妻は乳房の嬰兒の鼻口にかゝりしを知らず遂に嬰兒を失ひしと云ふ

◉胃中の電氣燈

前々號雜誌には胃に穴を明けて消化作用を見ると云へることを掲けしか是は又胃中に電氣を點けて腹内の作用を見たりと云ふことにて世の中の進歩は實に奇妙と云はさるべからず北米合衆國なる内科及外科大學校に於て此試驗を實行せりと云ふ試驗を爲されたるものはジョントーマスと云ふ人にして先づ暫らく絶食して後其口中に一條の管を下し之によりて水凡六合程を胃中に送り又微少なる電氣燈を下し入れ胃中の水に浮ばしめ其線を發電器に繋き暗き處に於て電氣をかけしに其光りは腹内を透して明かに其搆造作用を見るを得たりと云ふ而して患者は更に苦痛を感せざりしと云ふ

◉牛肉の良否を知る十三法

(第一)肉の色澤は曇紅色を帶ぶべからず(第二)曇紅色なれば病肉の徵なり(第三)深紫色なるものにあらずして肉中に血液を有して死したるものゝ肉あり(第四)肉は臭氣なきを以て良とす或は之あるも輕微にして不快なるべからず(第五)病肉或は腐敗肉は一種不快(死臭)なる臭氣を發す(第六)此臭氣を撿するには肉を細截して之に沸湯を灌きて嗅ぐべし然る

ときは判然と臭否を知るを得べし(第七)肉の新鮮良好なるを知るには利刀を以て深く肉の內部を穿ち取り其穿孔を嗅きて撿すべし(第八)肉を壓して其汁に青色の試驗紙を觸るれば赤色に變す蓋し良肉は常に酸性なればなり良好ならざる肉は亞爾加里性又は中性なるが故に赤色試驗紙を青色に變し或は青色及赤色の試驗紙を變化せす(第九)善良なる肉は之に攝氏百度內外の溫を以て乾燥するも其秤量百分の七十乃至七十四以上を減すべからず不良の肉は八十分の多を失ふこと間々あり(第十)良肉新鮮なるものは其の切口に於て筋と肪肪と交換して恰も大理石樣の紋理をなすものあり不良の肉は更に其紋理等著名ならず(第十一)良肉は指を以て之を接撫するに緊實にして彈力を有し指頭を潤すこと少かるべし(第十二)良肉は之を放置する二十四時間許りあるも其表面に濕潤を生じ又は水球を見るときは勿論却つて乾燥せるを良しとす(第十三)良肉は濕潤少なきを以て之れを割烹するに方り著しく收縮して容量を減せざるものなり若し之れに反すれは固より良肉にあらずと

(三重衛生雜誌)

◉醫師現在數

奈良廣島德島の三縣に於ける昨廿六年末日現在醫師其他衛生に關する業務者左の如しと

奈良縣　醫師四百八十八人藥劑師二十人藥種商三百四十三人產婆八百九十六人鍼灸治二百六十六人にして之を前年末日現在に比すれは醫師に十五人を增し藥劑師に一人藥種商に三十九人を減じ產婆に三十人鍼灸治に二十九人を增せり

廣島縣　醫師千五百七人內醫學士七人試驗百三十七人專門二百九十一人大學別科卒業十六人高等中學卒業十四人甲種醫學校卒業五十四人奉職履歷五十五人從來開業九百三十人限地開業二人鍼治六百

四十一人灸治九百三十五人産婆千九百二人内試驗三人從來開業千八百九十九人藥劑師八十三人藥種商四百五十七人製藥者四十三人入齒拔齒二十一人口中療治十六人接骨營業三人なり

廣島縣　醫師五百〇一人內卒業證書三十六人試驗七十人奉職履歷十九人從來開業三百六十人限地開業免許十六人藥劑師十二人藥種商三百九十四人製藥者二十九人產婆七十三人內內務省免許十一人本縣免許六十二人鍼治百十五人灸治二百十二人入齒十五人齒拔十七人なり又賣藥撿查出願者總員は六十九人にして方數百方にして內許可せしもの八十八方許可せざるもの十二方賣藥規則外藥劑撿查出願者九人にして方數十二方內許可せしもの三方許可せざるもの九方なり又藥用阿片拂下總數は三千百五十瓶にして特許藥師許可者年末現在三人なり

◉各種流行病

東京府にて本月二十二二十三兩日間に屆出の腸窒扶斯患者八人實布的里亞患者は二人疱瘡患者は二人にて合計十二人なりと云ふ、又インフルエンザは昨臘以來各府縣に流行せしか昨今府下にも大に流行し之に罹るもの中々多く一人之に罹るときは延て家內に傳染し發熱頻りにして遂には餘病を牽き起し肺炎等に變症するものあり老人の如きは爲めに死亡するもの多しと云ふ殊に品川遊廓等にては一種のインフルエンザ的消渴流行する由に付警視廳よりは撿查官を派するに至りしと云ふ注意すべき事なり

又府下南多摩郡八王子の某醫は腸窒扶斯患者六十六名を隱蔽したるの故を以て傳染病豫防規則第二條に依り罰金拾五圓に處せられしと云ふ以て同地の流行病を知るべし

◉赤痢病豫防訓令

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

赤痢は近來益々猖獗にして殆んど本邦全土の三分の二は該病毒に侵され尚蔓延の摸樣あるに付中央衛生會に於ては先年以來死調べ中なりしに最早全く調べ濟みとなりたれば不日大臣より其豫防法を訓令せらるべしと云ふ

◉廣島大分の天然痘

廣島縣下尾の道町近傍にては一月以來天然痘發生し今日迄に患者の數は九十四人ありて益々流行の兆ありと云ふ又大分縣南海郡迄にても同樣にて村民其蔓延を恐れ痘神を野外に送りしと云ふ

◉沖繩縣下の痲疹流行

同縣下鳥尻地方玉城間切に於ては一月初旬より痲疹流行し患者二百名程あり追々蔓延の摸樣ある由なるが幸に經過頗る宜しく死亡者等なき旨奈良原同縣知事より一兩日前其筋へ報告ありたりと云ふ

◉露國の虎列刺

虎列刺の流行は夏季のみに限らず露國聖比得堡府の寒地にては去る十一月中旬より激症コレラ流行し斃死するもの尠なからざるに付府中の諸學校は十二月十八日より孰も休校しるた由

諸會の景況

◉大日本婦人衛生會

二月例會二月四日（第一日曜日）午後一時より麴町區富士見町五丁目廿二番地富士見倶樂部に於て開會す來會者三十名講師宮本仲君（子供抱寢の事に就て）の講演次にドクトル金杉英五郎君（鼻と咽喉に付て）と云へる演題にて演説せられ午後四時散會せり

又総會は來四日に富士見倶樂部に於て開會し役員改撰事務報告をなす

◉大日本私立衛生會にては本年総會を四月下旬京都府下に於て開會すと云ふ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

●東京顯微鏡院（京橋瀧山町八番地）にては去る十六日より始業せしと云ふ同院にては毎日顯微鏡驗温器及肺結核咯痰の撿査を行ひ何人にても其成績書を與ふるよしにて目下其撿査を依頼するもの毎日平均四十名に下らすと云ふ

廣告

入退會

●二月より三月に至る入退會轉居左の如し

●事務所へ申込

四谷區元鮫ケ橋町五十八番地

特別會員 伯爵夫人 松平充子

●地方賛成員中里格助君の紹介により

伊勢國塔世西裏

賛成員 梅村甚太郎君

●幹事中野悦子の紹介により

神奈川縣高坐郡鵠沼村

通常會員 伊東ゑい子

●會員日下しづ子の紹介により

第二醫院 伊澤さと子

仝 關てい子

●會員立石靜子の紹介により

第一醫院 岸すゑ子

●通常會員岡田ひて子の紹介により

京橋元數寄屋町一丁目三番地

通常會員 多田なを子

轉居

本郷眞砂町三十五番地青森方へ 佐藤とめ子

麹町區富士見町五丁目十三番地へ 馬場定子

廣島縣呉和庄町千六百十六番地へ 嘉納せん子

下谷區西黒門町二十二番地へ 神羽りう子

神奈川縣三浦郡三崎町日出十一番地へ 塩崎せい子

同縣横濱市伊勢町三丁目十六番地へ 中野すか子

死亡

瀧野さえ子

退會

臼井民子

篠原よし子

下村まき子

臼井せつ子

萩原そう子

大日本婦人衛生會

◉東京府下死亡月表

東京府に於て調査せる昨廿六年十一月中十五區九郡に於ける死亡者病症及年齢別は左の如しと（公報）

病症別	
傳染性病	
腸窒扶私	七五
黴毒	四〇
脚氣	三七
實布的里亞	二九
僂麻質私	一二
膿毒症	六
產蓐熱	六
丹毒	五
間歇熱	二
痘瘡	一
敗血症	一
百日咳	一
計	二一五
發育及營養的病	
發育不全	一〇七
老衰	一〇二
全身水腫	四九
胃癌	四六
癌腫瘍	四〇
腺病	八
營養消耗	八
貧血	五
造搆誤常	三
乳癌	三
壞疽	二
佝僂病	一
痛風	一
糖尿病	一
計	三七六
皮膚及筋病	
皮下結締織炎	三
臍諸患	三
癰	二
計	八
骨及關節病	
關節炎	七
骨疽	三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治二十一年二月二十八日内務省許可

脊椎炎	二
骨瘍	一
骨傷	一
計	一四
血行器病	
瓣膜病	四二
心臟內膜炎	三〇
心臟肥大擴張	六
心臟痲痺	四
心臟脂化	二
動脈疾患	二
靜脈疾患	一
心臟實質炎	一
計	八八
神經系病	
腦膜炎	二四八
卒中	一七八
小兒急癇	五七
破傷風	三三
腦充血	二一
腦水腫	一六
癲狂	一四
脊髓炎	一二
腦貧血	八
腦栓塞	六
脊髓勞	五
子癇	五
歇私垤里	三
腦炎	二
脊髓膜炎	二
依卜昆垤兒	二
癲癇	一
計	六一二

明治廿七年二月廿八日印刷
明治廿七年三月二日發行

發行所　東京下谷區練塀町四十三番地　大日本私立婦人衛生會
編輯兼發行者　東京牛込區矢來町三番地　田中德三郎
印刷者　神田區小柳町十三番地　小高良造
印刷所　神田旅籠町貳丁目拾一番地　廣業館

明治廿六年四月四日遞信省認可第一金曜日發行
（定價金十錢）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN